



明日に備えて



新人看護師研修



地震総合訓練

問診、視診、聴診、打診、触診などを用いて患者さんの情報を集め分析し、患者さんにあつた対応を考察する研修を行いました。また、地震総合訓練では精神科病棟合同で災害拠点精神科病院としての一時避難受け入れ訓練も行い、非常時に常に備え、新たな試みにも挑戦しています。

【理 念】キリスト教精神に基づく「隣人愛」

【経営方針】この地域にしっかりと根ざし、住民に信頼される病院づくり



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
医療保護施設

総合病院 聖隷三方原病院

SEIREI MIKATAHARA GENERAL HOSPITAL

〒433-8558 浜松市北区三方原町3453

TEL 053-436-1251(代) FAX 053-438-2971

おしらせ



新任医師の紹介

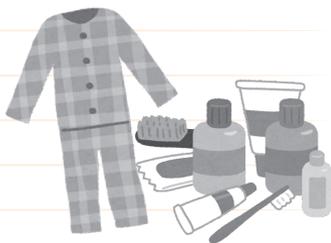
救急科
たけうち しんたろう
竹内 晋太郎
(三重大学 2018 年卒)



ケアサポートセット(CSセット) を導入します

2021年11月1日から患者さん・ご家族の利便性向上のため、ケアサポートセット(CSセット)を導入致します。CSセットは入院時に必要となる衣類(寝巻き)・タオル類・日用品を1日単位で貸出す洗濯付きのサービスです。また、必要な方にはオムツ等のサービスがあります。

これまでは衣類(寝巻き)のみを貸し出し、患者さん・ご家族に入院に必要な物品の準備や入院後の洗い替えのご用意をお願いしておりましたが、今後は患者さん・ご家族の入院時のご負担が少し軽減されるのではないかと思います。



新型コロナウイルス ワクチン接種受付中

予約

受付時間：9:00～17:00 ※土・日・祝日を除く

予約方法：接種券をお手元にご用意のうえ、聖隷三方原病院新型コロナウイルスワクチン接種予約センターにお電話ください。

対象：浜松市からの接種券をお持ちの方

専用電話番号：**053-436-0567(ゼロコロナ)**

接種日

ワクチン接種日の予定は当院ホームページに掲載しております。

注意事項

- 予約受付は専用電話のみ**です。聖隷三方原病院に電話、または直接お越しいただいての予約受付はできかねます。
- 接種日時は、受付順に当院で指定させていただきます。
- 当院以外でファイザー社製ワクチンを接種し、1回目の接種から3週間以上経過している場合は、2回目のみでも予約・接種が可能です。

がん、肝炎、糖尿病等の疾病により長期にわたる治療が必要な求職者の皆様へ ～ハローワーク浜松による就職支援のご案内～

患者さんの悩み・不安にハローワーク浜松の就職支援ナビゲーターがアドバイスします！

日時：11月17日(水) 10:00～12:00

場所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室

お問い合わせ：医療相談室

電話：053-439-9046

※事前予約可能です。医療相談室にて予約ください。

人間ドックのご案内

聖隷予防検診センター

お申し込み：

【予約受付時間】

0120-938-375

◆月～金曜日 9:00～16:30

◆土曜日 9:00～12:00

あれ!? これって…
認知症?

認知症相談会

認知症の人には
どう接したらいいの?

認知症に関する相談を、認知症看護認定看護師、医療ソーシャルワーカーがお受けします。ひとりで悩まず、ご相談ください。

日時：11月25日(木) 14:00~17:00

※事前予約制、30分程度/1件

場所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室

申し込み：医療相談室(よろず相談地域支援室内)

電話：053-439-0006

受付時間：月~金 8:30~17:00

主催：聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター

がん相談支援センターからのお知らせ

がん患者さん等のための就労に関する相談会

静岡産業保健総合支援センターから派遣された両立支援促進員と当院の相談員がご相談をお受けいたします。

予約制 日時：2022年1月13日(木) 13:00~16:00

場所：聖隷三方原病院 よろず相談地域支援室

対象：患者さんとご家族

おしゃべり会「じゃがいも」



同じ病気を抱えている患者さんといっしょにお話してみませんか？おしゃべり会はみなさんで体験をわかちあい、支えあう会です。

日時：11月25日(木) 13:30~14:30

場所：Web開催

内容：Web会議ツールを使用して、Web上でお話をいたします。詳しくは病院HPをご覧ください。

参加費：無料(Web通信に伴う費用につきましては、ご利用者様ご負担)

申込み：がん相談支援センター(053-439-9047)へお電話にてお申し込みをお願いします。メールアドレス等をお伺いします。

お問い合わせ：よろず相談地域支援室内 がん相談支援センター
電話：053-439-9047



季節のレシピ

栄養課通信 11月

~白菜~

白菜は95%が水分でカリウムが多いのが特徴です。カリウムは体内で細胞の浸透圧を維持したり、水分を保持したりするのに重要な役割のある成分です。体内の余分な塩分を排出する働きがあり利尿作用に優れます。

淡色野菜の仲間ですが、外葉の緑色の部分には、β-カロテン、ビタミンCも多く、白菜全体にカリウム・カルシウム・マグネシウム・亜鉛などのミネラルをバランスよく含んでいます。

食物繊維を多く含み、加熱して調理することで、かさが減ってたくさん食べられます。

白菜を使った炒め物を紹介します。

簡単!旬のレシピ

おすすめメニュー

「白菜と桜エビの炒め物」

をご紹介します

《栄養価1人当たり》

エネルギー	72 kcal
たんぱく質	4.8 g
脂質	2.7 g
食塩相当量	0.9 g

2人分

白菜の葉	300g(約3枚)	A	かつおだし	50cc
乾燥桜エビ	6g		酒	小さじ2
ゴマ油	小さじ1		醤油	小さじ2

作り方

- ① 白菜はザク切りにする。
- ② 鍋にゴマ油を熱して白菜を炒め、Aの調味料を入れ、混ぜ合わせる。
- ③ 乾燥桜エビを加えて蓋をし中火にかけ、沸騰したら弱火にして7~8分煮る。

★ポイント★

★少量のかつおだしをとるときは、茶こしに5g程度の削り節を入れて、沸騰した湯200ccを注ぐと手軽にとれます。

★桜エビからも旨味が出ますので、薄味でもおいしく食べられます。

栄養課 管理栄養士 藤野 弘子

検脈のススメ

脳卒中科
あかみね そういち
部長 赤嶺 壮一

脳梗塞とは、ある日突然脳の血管が詰まり、その先の脳組織が壊死してしまうという病気です。細い血管が詰まった場合、症状は軽症で済みますが、太い血管が詰まった場合、脳梗塞の範囲が広くなり、麻痺や言語障害などの後遺症で、その後の人生が変わってしまう可能性があります。

脳梗塞を予防するため、毎年MRI検査を受けたいというお話を患者さんからよく聞きますが、MRIでは脳梗塞の発症を予知することはできません。しかし、毎日簡単なチェックをすることで、重症な脳梗塞を未然に防ぐことができる方法があります。それが「検脈」です。

「図」の如く、左手首に右指を3本あてて、脈をチェックします。脈が規則正しく打っていれば良いですが、乱れている時はかかりつけ医を受診して心電図を取ってもらいましょう。不整脈があるかもしれません。

なかでも「心房細動」という不整脈では、心臓の中に血液のかたまり（血栓）ができて、脳の血管に詰まることがあります。脳の太い血管に詰まることが多く、重症になることが多いのです。そうなる前に心房細動

が発見できれば、カテーテル治療で心房細動を起こらなくしたり、心臓の中に血栓ができなくなるお薬（抗凝固薬）を内服することで、脳梗塞を未然に防ぐことができます。

脳梗塞の原因は不整脈だけではなく、誰でも不整脈が起こる可能性はあるため、検脈をすることに損はないと思います。



図

今月の部門紹介

脳卒中科



患者さんについて、病気だけでなく、
ひとりの人間として理解した上で診療します。

脳卒中科は、主に脳梗塞を診療する科です。脳梗塞は一度発症すると再発する可能性が高いため、再発を予防していくことが重要です。脳梗塞は、生活習慣や加齢が原因で起こることが多く、単にお薬を投与しただけでは再発の予防はできません。お酒やたばこ、食事、さらには仕事の内容や睡眠など、生活習慣全般について考えなくてはなりません。また、脳梗塞により、手足の麻痺、食物が呑み込めない、言語障害といった後遺症が残った場合、病気の治療が終わってもその後の生活全体を支えることも考えなくてはなりません。脳卒中の診療のためには、患者さんをひとりの人間として理解することが必要と考えております。



病院で働く人たち

地域医療連携室



地域医療連携とは、手術や入院を必要とする患者さんや開業医では行うことができないCT・MRIなどの検査ができる急性期病院と地域医療機関をつなぐシステムです。

日常の業務は、他医療機関からの診療予約・検査予約や緊急受診の依頼など電話対応を主に行っています。また、診療結果報告など書類管理や診療に必要な画像などの資料取寄せを行い、スムーズに診療が行われるための業務も担っています。

私たちは当院に受診される患者さんが少しでも安心できるように日常業務や電話などでの対応を丁寧に行うことをこころがけています。



ささき あみ
佐々木 阿美

看護外来のご案内

看護外来では、患者さんやご家族がその人らしい生活をスムーズに送れるよう、専門的な知識、技術を持った看護師が相談をお受けしています。

看護外来は予約制です。

- ・ ストーマ外来
- ・ 皮膚・排泄ケア外来
- ・ フットケア外来
- ・ がん看護外来
- ・ 助産外来
- ・ 母乳外来
- ・ 育児母乳相談外来



お問い合わせ先

よろず相談地域支援室（看護相談室）

TEL:053-436-1251（代）